



コロナーオミクロン急拡大

今度こそ 早期・全員検査に 踏み出せ

岡山市では昨年10月から11月にかけてクラスターや施設内の集団感染が相次ぎました。ある施設での事例分析から、市の対応が後手で、結果的に感染を広げていることが改めて分かりました。

経過 1年前から変わらぬ対応

この事例では、最終的に30人以上に感染が拡大。最初の感染者が分かった時点ですぐに施設内全員のPCR検査をしていけば防げた感染があることは明らかです。

しかし、市が行った1回目の集団PCR検査は発覚から5日目で、検査対象を絞った結果、対象外の

原因

PCR検査対象の限定が感染を拡大させる

新型コロナウイルスは変異を繰り返し、感染力も強まっています。感染者の行動履歴から検査対象を

限定する方法では、保健所職員の労力も時間もかかる上に、発見しきれずに感染を広げてしまいます。

対策 トップの姿勢次第

これまでの事例から学ぼうとしなかつたことは、人災と言わざるを得ません。

オミクロン株は、発覚した時にはすでに周りに感染を広げている

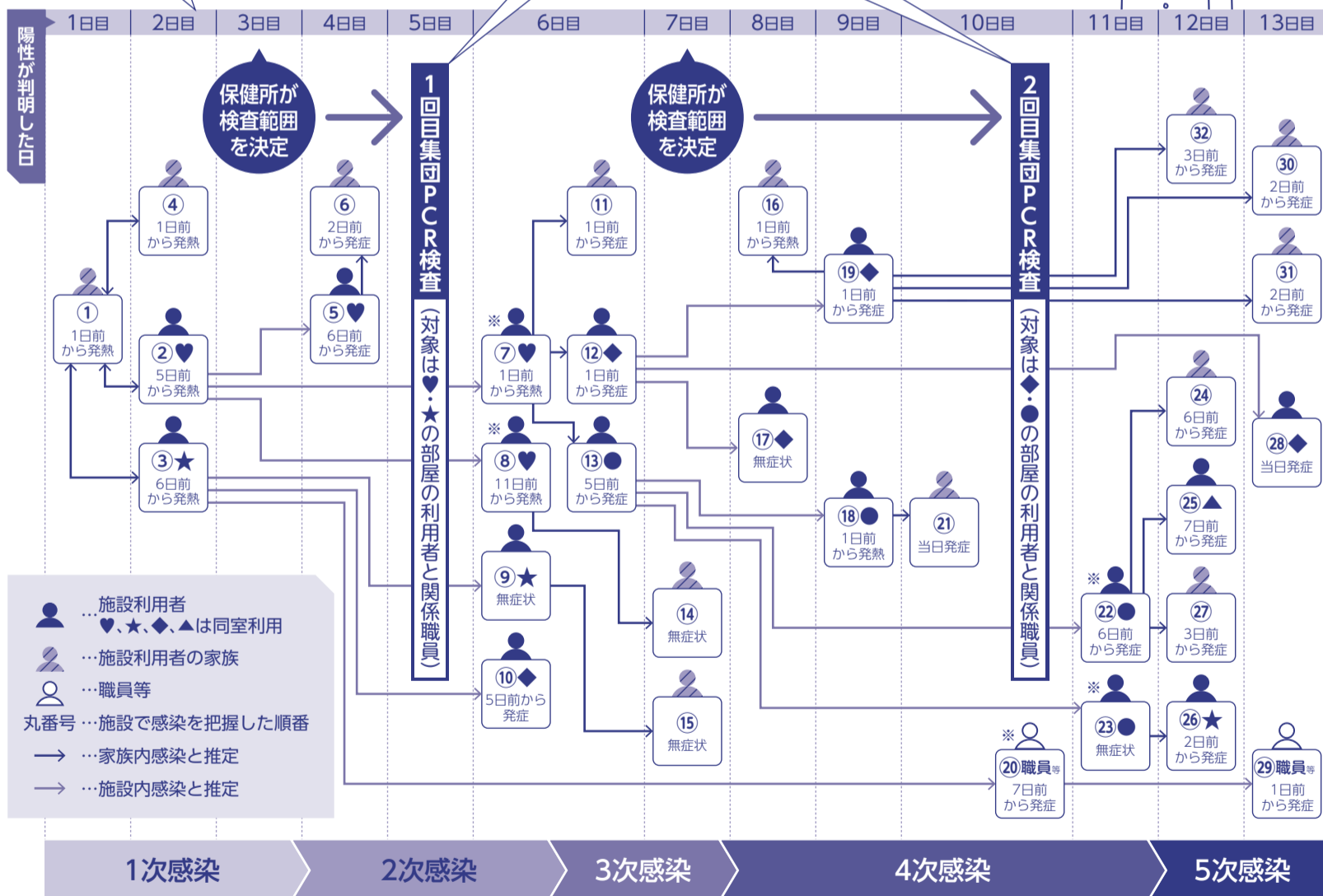
と言われています。岡山市は、今度こそ1人目の感染者が出た時には、直ちに施設の全員を検査するべきです。トップの姿勢が問われています。



市内施設での感染拡大の事例

POINT この時点で、ただちに施設全体の検査を行うべきだった。

POINT 市の集団検査で陽性が分かったのは施設利用者では1回目と2回目で各2名だけ(※)。市が検査対象にしなかった人から感染が広がった。



この先もさらに家族内感染が続いた

新たなオミクロン株の拡大に対して

党市議団は、緊急の対策を求めて市長あてに第9次の緊急申入を行いました。
▼6ヶ月後の迅速な3回目のワクチン接種▼高齢者施設や医療機関での定期検査▼「いつでも、誰でも、無料で」受けられる無症状者対象PCR検査の実施場所・検査数・期間の拡充▼有症者を自宅に置き去りにしないための地域医療機関との連携と体制強化▼医療機関への十分な支援と保健所の恒常的な職員増▼視覚障害者への知らせ方の改善など。

岡山県は

期間限定ですが無症状者への無料の検査を始めました。いのちと暮らしを守るために全力をあげるべきときです。とりわけ岡山市の検査のありかたは、どうしても改善が必要です。

無料検査できる薬局等

